

CITIZEN

2019年度（2020年3月期）

通期決算説明会

シチズン時計株式会社

2020年5月14日

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。なお、億円未満は切り捨てになっています。

目 次

- 2019年度 通期業績概要
- 2020年度 時計事業重点戦略
- 参考資料

CITIZEN

2019年度 通期業績概要

決算のポイント

■ 2019年度通期累計実績

- ・ 時計事業

市場低迷に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による急激な落ち込みを受け、完成品、ムーブメント共に減収減益

- ・ 工作機械事業

修正値に対し想定通りの着地となったが、不透明感は拡大

- ・ 特別損失 245億円計上

時計事業を中心に減損損失を計上

■ 2020年度通期連結業績予想

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響を現時点で合理的に算定することが困難な状況であることから未定

2019年度 通期連結業績概要

(単位：億円)	2018年度 実績	2019年度 実績	前年同期比	
			増減率	増減額
売上高	3,216	2,785	▲13.4%	▲ 431
営業利益	224	61	▲72.6%	▲ 162
営業利益率	7.0%	2.2%	-	-
経常利益	266	75	▲71.7%	▲ 190
親会社株主に帰属する当期純利益	133	▲ 166	-	▲ 300
為替レートの影響	¥111/USD ¥129/EUR	¥109/USD ¥121/EUR	-	

為替の影響	売上高	営業利益
USD	+13.0億円	+3.0億円
EUR	+2.0億円	+0.7億円

(1円の円安 年間)

セグメント別業績 公表値対比

売上高

(単位：億円、%：営業利益率)	2019年度	2019年度	予想対比	
	前回予想	実績	増減率	増減額
時計事業	1,500	1,416	▲5.6%	▲83
工作機械事業	580	585	+0.9%	+5
デバイス事業	560	559	▲0.1%	▲0
電子機器事業	175	168	▲3.6%	▲6
その他の事業	60	55	▲7.6%	▲4
合計	2,875	2,785	▲3.1%	▲89

営業利益

時計事業	70 (4.7%)	39 (2.8%)	▲43.7%	▲30
工作機械事業	73 (12.7%)	72 (12.4%)	▲1.2%	▲0
デバイス事業	8 (1.4%)	9 (1.7%)	+15.9%	+1
電子機器事業	▲2 (▲1.1%)	▲2 (▲1.5%)	-	▲0
その他の事業	2 (3.3%)	0 (0.8%)	▲79.0%	▲1
消去又は全社	▲61	▲57	-	+3
合計	90 (3.1%)	61 (2.2%)	▲31.8%	▲28

セグメント別業績 前年同期対比

売上高

(単位：億円、%：営業利益率)	2018年度	2019年度	前年同期比	
	実績	実績	増減率	増減額
時 計 事 業	1,635	1,416	▲13.4%	▲ 219
工 作 機 械 事 業	721	585	▲18.9%	▲ 136
デ バ イ ス 事 業	608	559	▲8.0%	▲ 48
電 子 機 器 事 業	193	168	▲12.7%	▲ 24
そ の 他 の 事 業	58	55	▲4.8%	▲ 2
合 計	3,216	2,785	▲13.4%	▲ 431

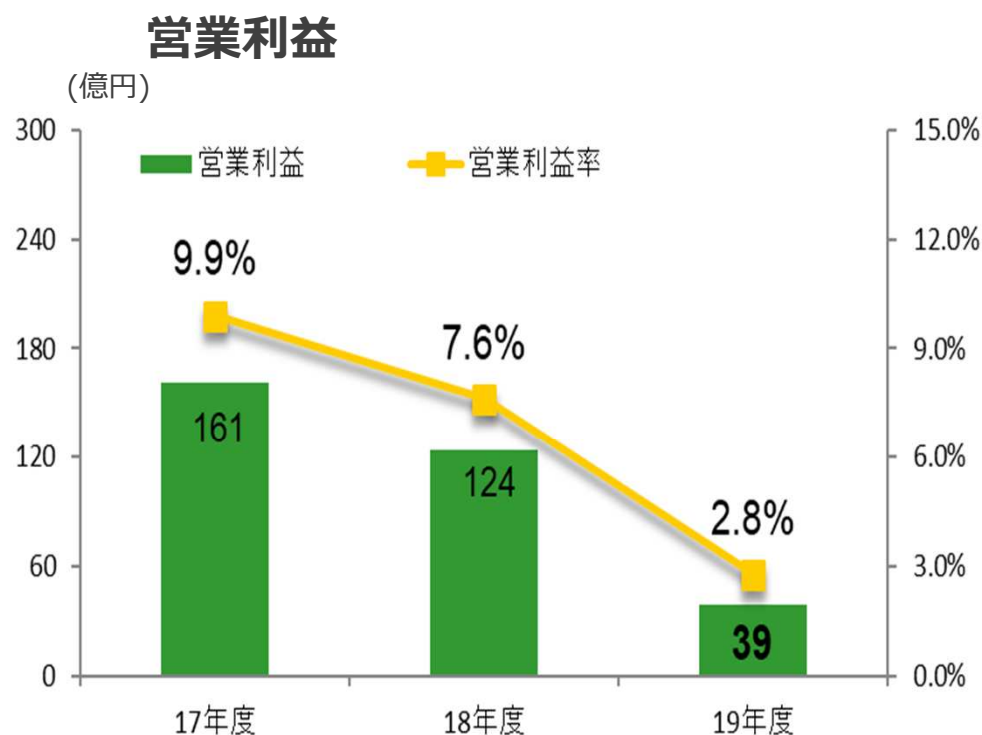
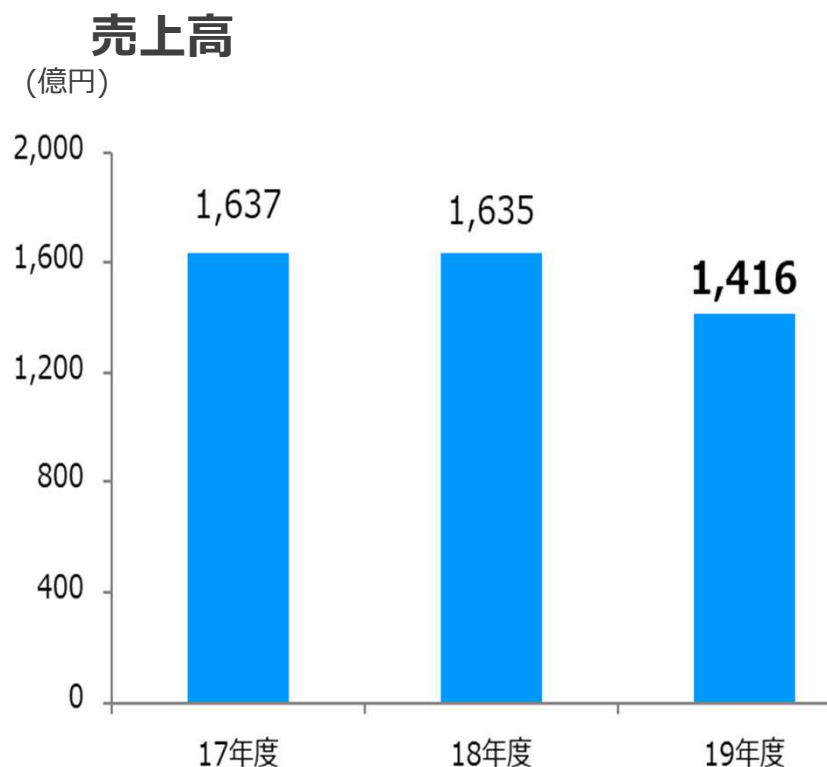
営業利益

時 計 事 業	124 (7.6%)	39 (2.8%)	▲68.3%	▲ 85
工 作 機 械 事 業	130 (18.1%)	72 (12.4%)	▲44.5%	▲ 58
デ バ イ ス 事 業	25 (4.2%)	9 (1.7%)	▲63.6%	▲ 16
電 子 機 器 事 業	4 (2.3%)	▲ 2 (▲1.5%)	-	▲ 6
そ の 他 の 事 業	1 (2.5%)	0 (0.8%)	▲71.3%	▲ 1
消 去 又 は 全 社	▲ 62	▲ 57	-	+ 4
合 計	224 (7.0%)	61 (2.2%)	▲72.6%	▲ 162

時計事業 通期業績推移

通期概況：消費税増税後の需要低迷により国内市場が落ち込んだほか、海外市場も北米市場等が低迷。
ムーブメント販売は、高付加価値品を中心にアナログクォーツムーブメントが伸び悩み、減収

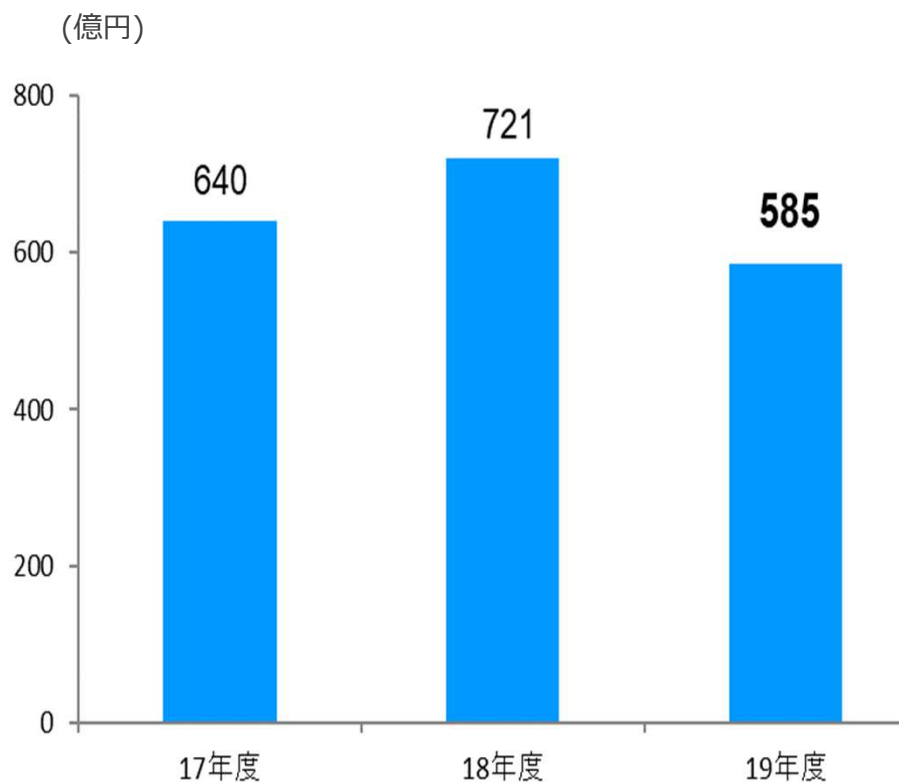
4Q概況：新型コロナウイルスの感染拡大の影響が世界的に広がり、ムーブメントの落ち込みに拍車がかかった他、完成品も国内、北米市場が大幅減



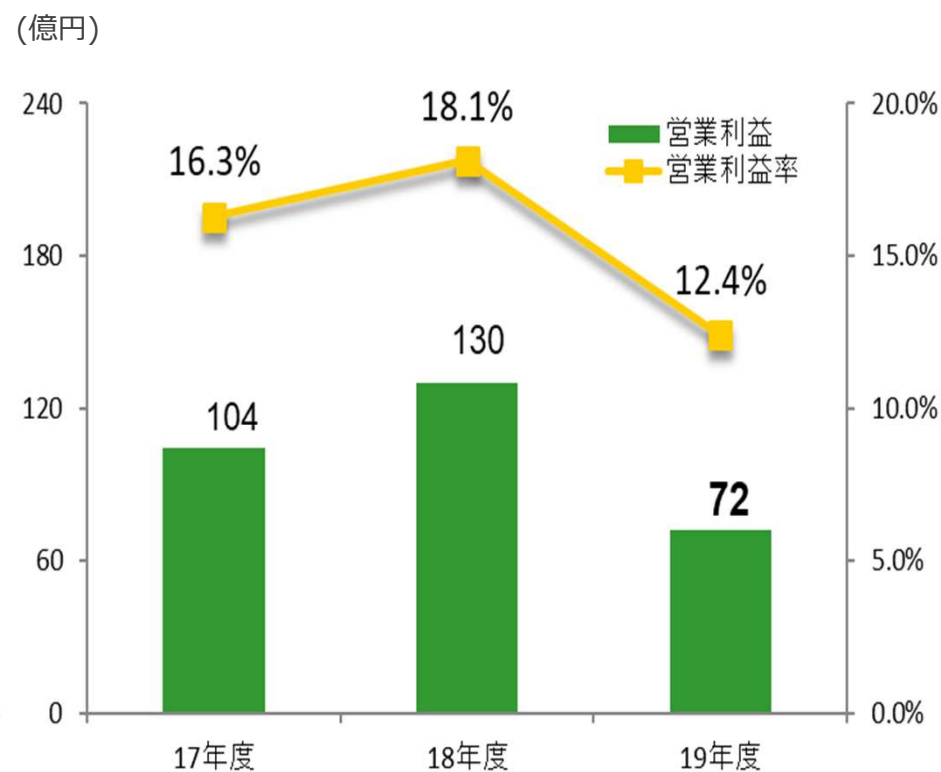
工作機械事業 通期業績推移

海外市場：中国で医療関連が堅調に推移する一方、世界的な市況環境の悪化を受け、減収
国内市場：自動車関連の落ち込みと設備投資意欲の急速な冷え込みにより、減収

売上高



営業利益

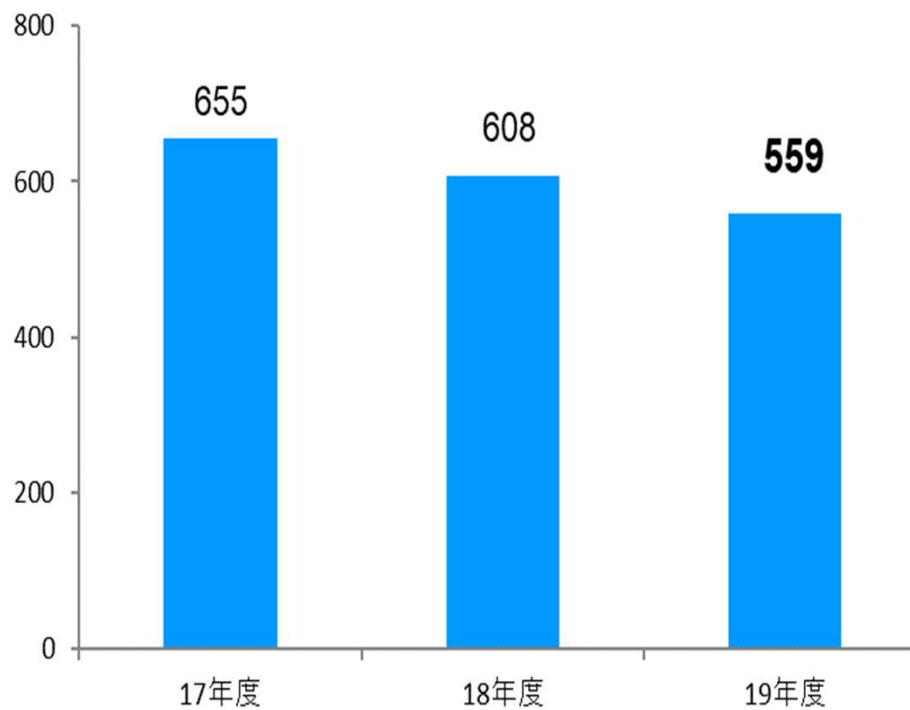


デバイス事業 通期業績推移

- ・精密加工部品：新車販売台数の減少から自動車部品が低迷し、減収
- ・オプトデバイス：収益を重視した取り組みの実施と車載向けLEDを中心とした需要減により、減収

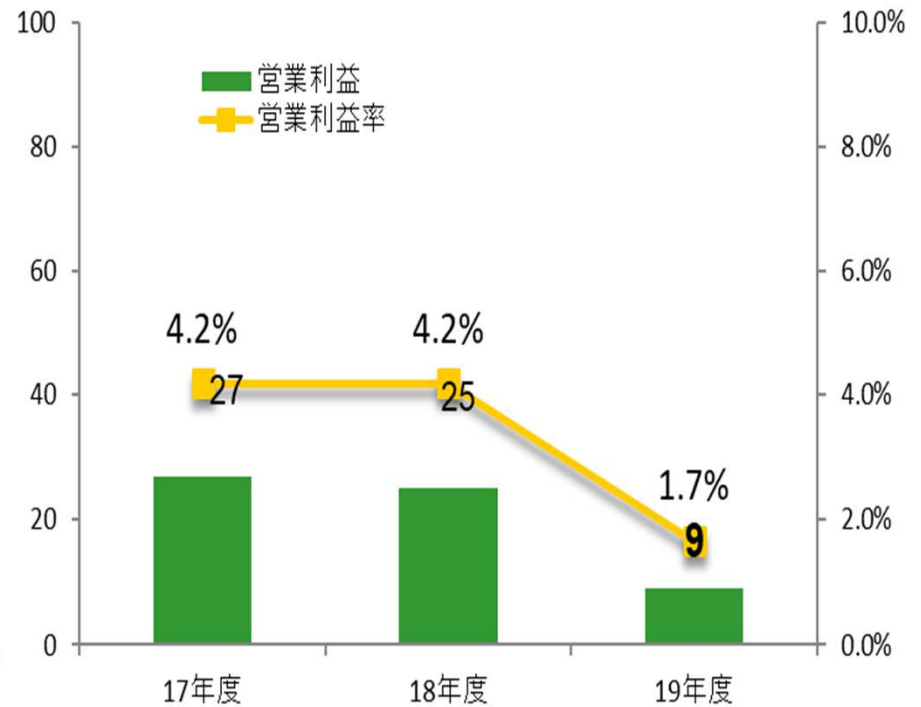
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



特別損失の計上

セグメント	2019年度 特別損失 計上額	概要
時計事業関連	167億円	ムーブメント製造設備 ハイブリッド式スマートウォッチ事業関連 など
デバイス事業関連	57億円	シチズン電子関連早期退職費用 シチズン電子船引工場閉鎖関連 など
その他	19億円	宝飾事業譲渡関連 シチズンプラザ解散 など
合計	245億円	

2020年度 時計事業の重点戦略

時計事業環境変化の認識

- スマートウォッチの台頭
- 実店舗からECへの流通構造の変化
- 地政学的リスクによる先行き不透明感の高まり
- 新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な消費マインドの冷え込み

2020年度 時計事業の重点戦略

**ムーブメントに依存しない
シチズンブランドを核とした収益拡大**

- 1. ムーブメント事業の再構築**
- 2. Eco-Driveを軸としたシチズンブランドの強化**
- 3. EC販売及びデジタルマーケティングの強化**

1. ムーブメント事業の再構築

1 アナログクォーツムーブメント生産規模の適正化

2 さらなる合理化によるコスト削減の追求

3 堅調な機械式ムーブメント需要の獲得



2. Eco-Driveを軸としたシチズンブランドの強化

グローバルブランドの更なる拡大と新規顧客の開拓

 **PROMASTER**

CITIZEN *L*



Eco-Drive[®]

ATTESA

XC

国内主要ブランドの更なる強化とアジアへの拡販

3. EC販売及びデジタルマーケティングの強化

EC販売

既存のEC販売の促進に加え
直販プラットフォームを構築



デジタルマーケティング

Eco-Drive Riiiver (リイバー)

ヒト・モノ・コトを繋げる
IoTプラットフォーム

FTS ファイン・チューニング・ サービス

「自分だけの、世界に一つだ
けの」腕時計を形に

AI ウォッチリコメンド サービス

AI WATCH
RECOMMEND

好みや感性にピッタリの
腕時計を提案

重点地域戦略

中国市場の再活と成長加速

- 若年層向け商品の拡充
- EC販売の拡大

北米市場の運営見直しによる利益体質への転換

- 構造改革による販売管理費の適正化
- EC販売の拡大

CITIZEN

貸借対照表

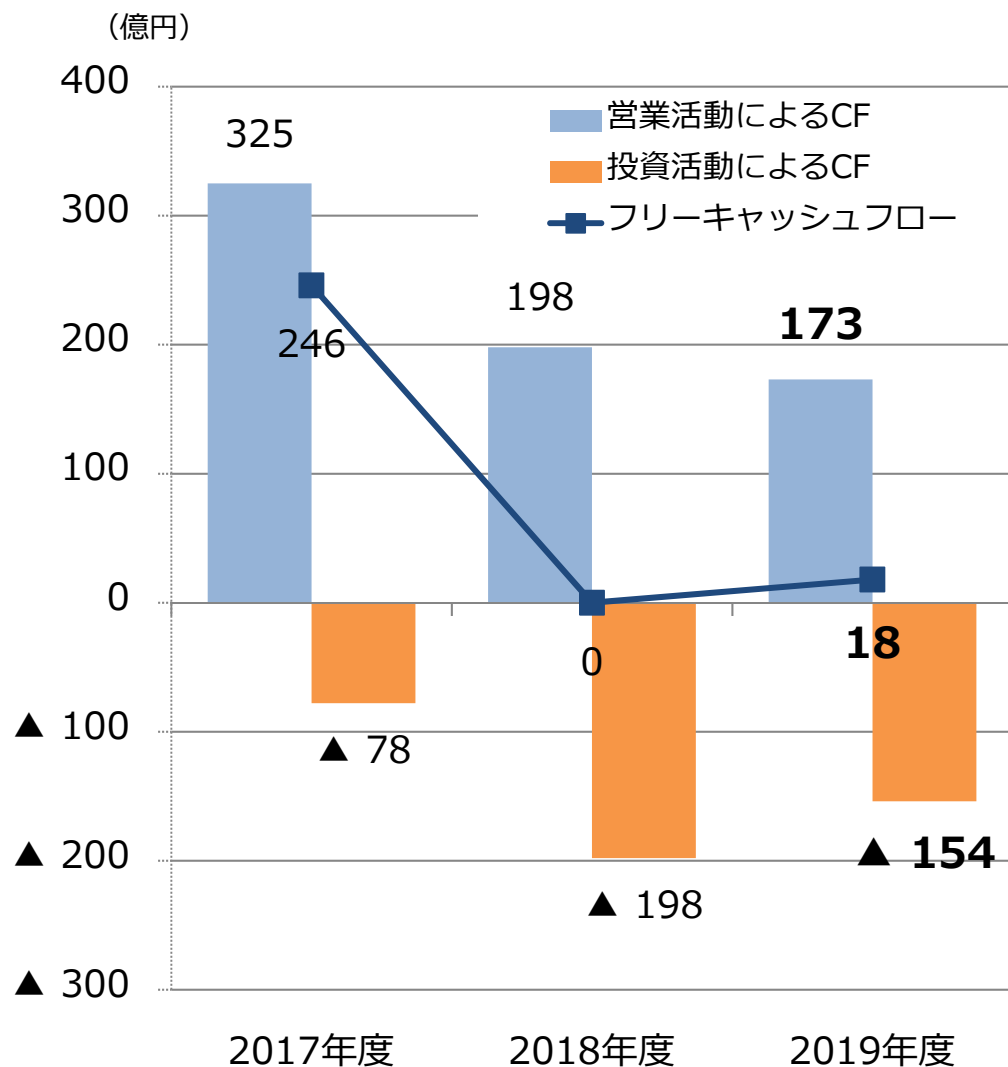
参考資料

(単位：億円)	2019年 3月末	2020年 3月末	前年度 末比 増減額
流動資産	2,589	2,356	▲ 233
現金及び 預金	868	801	▲ 67
棚卸資産	982	1,011	+29
固定資産	1,549	1,339	▲ 210
有形固定 資産	896	785	▲ 111
投資有価証券	399	334	▲ 65
資産合計	4,139	3,695	▲ 443

(単位：億円)	2019年 3月末	2020年 3月末	前年度 末比 増減額
負債	1,463	1,387	▲ 75
有利子 負債	510	551	+40
純資産	2,675	2,307	▲ 367
株主資本	2,468	2,201	▲ 267
為替換算調整勘定	33	▲ 10	▲ 43
負債・純資産 合計	4,139	3,695	▲ 443

キャッシュフロー計算書

参考資料

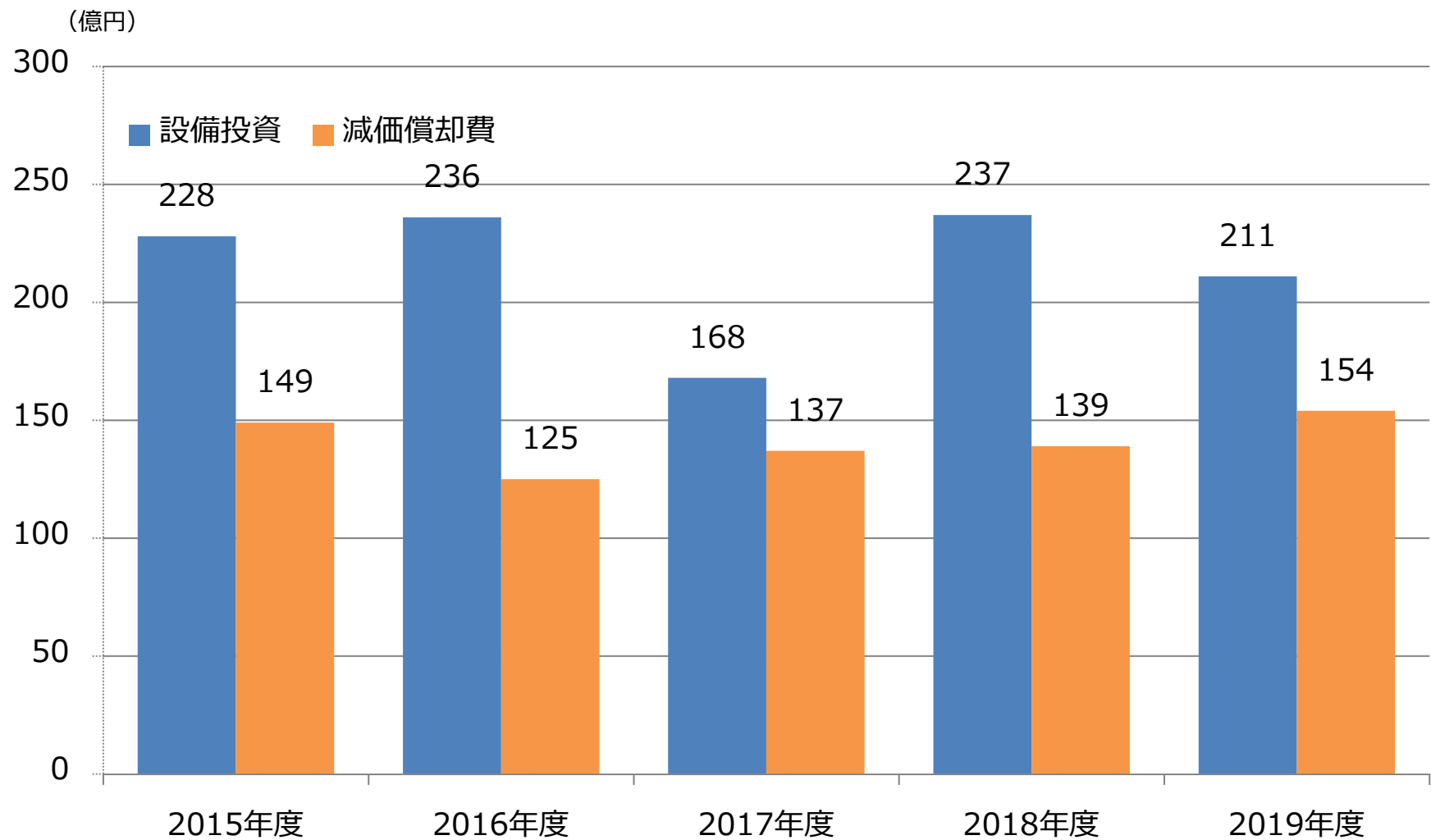


(単位：億円)

	18 通期	19 通期	前年 同期比 増減額
営業活動によるCF	198	173	▲25
投資活動によるCF	▲198	▲154	+43
フリーキャッシュフロー	0	18	+18
財務活動によるCF	▲58	▲70	▲11
現金及び現金同等物残高	845	779	▲65

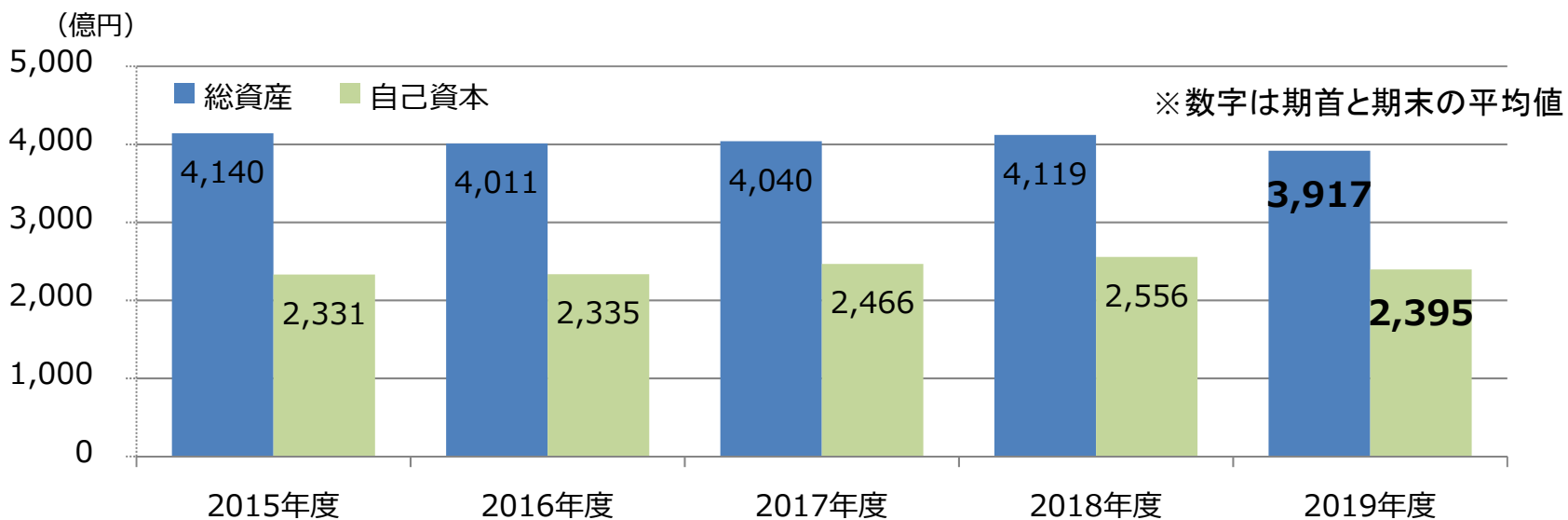
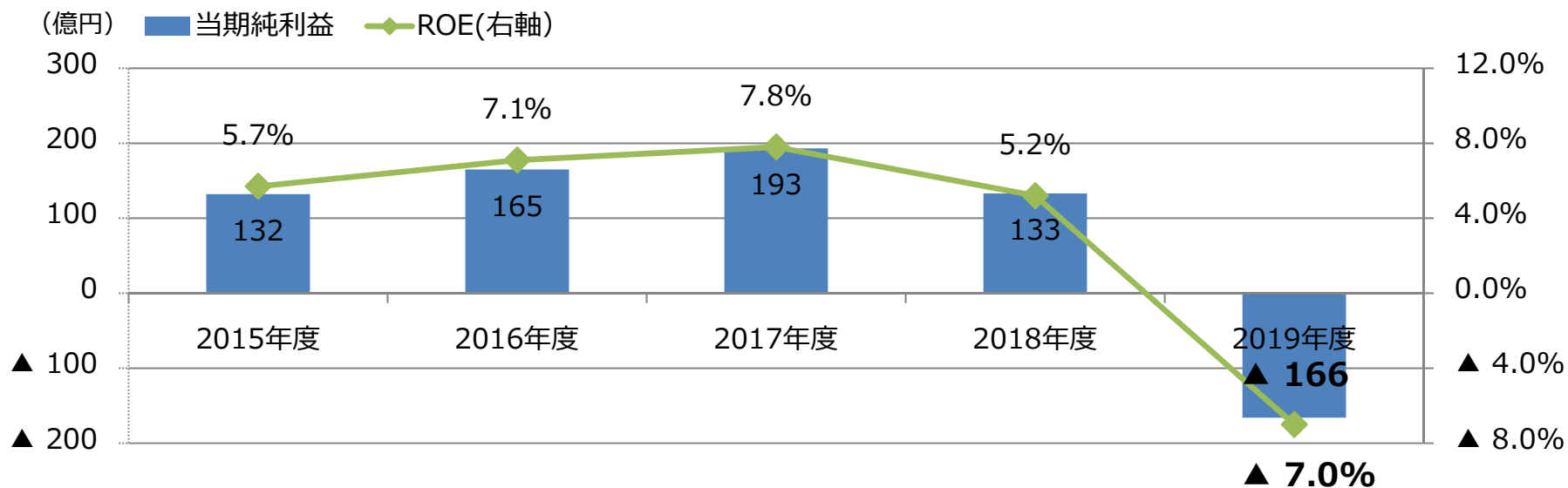
設備投資・減価償却費

参考資料



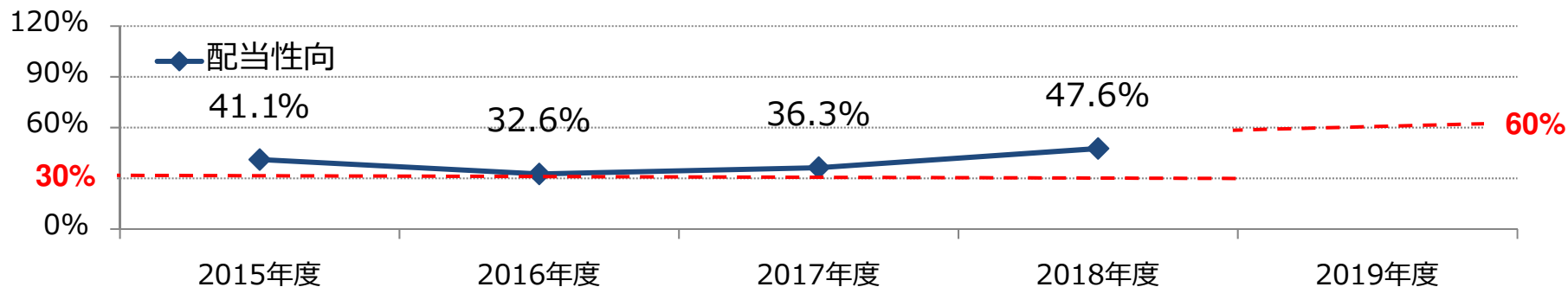
ROE

参考資料



株主還元

参考資料



株主還元	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
一株当たり配当金 (年間)	17.00円	17.00円	22.00円	20.00円	12.00円予定

